

## 3月議会報告

# 消費税増税中止に賛成は3人

3月議会最終日の18日本会議、沼田民主商工会から提出された請願第7号「国に対し消費税中止を求める意見書の提出を求める請願」に対する採決が行われ、採決に賛成は、日本共産党の井之川、大東両議員と高柳議員の3人で、議長を除く残りの16人全員が反対しました。



井之川博幸市議

井之川博幸議員は、採決に先立つ討論の中で、「実質賃金が下がり続け、物価の相次ぐ値上げなどで消費不況が続いていること。また、貿易摩擦などで経済発展の伸びが低下し、日本経済に対する影響も懸念されている状況での消費税10%への増税は、日本経済が壊滅的な状況に陥り、国民生活はますます厳しくなること。さらに、複数税率導入とポイント還元で、買うもの、買う場所、買う方法によって何通りもの税率になり、高齢者をはじめ消費者はもちろん、中小小売店にも混乱と負担を広げることが避けられない」と主張し、「10月からの消費税10%への増税は中止せよとの請願」については、「採決に賛成」と訴えました。

## 自殺対策推進は全会一致

民生福祉常任委員会から議員提案された「沼田市自殺対策推進計画の実効性を高めるための決議」については、全会一致で採決されました。「決議」は、沼田市の自殺率は全国を大きく上回っており、人口10万人当たり、全国では16.9人だが、沼田市では25.8人、男性の自殺率は、全国の24.0人に対し、沼田市では40.9人と大きく上回っているため、具体的対策の推進が必要だとして、3項目の推進を強調しています。



## 新年度予算の問題点

# 保育料無償化で格差拡大に

もともと保育料は、所得によって傾斜配分されています。無償化によって高所得者は多くの恩恵を受けますが、所得の低い世帯では、無償化される保育料よりも消費税増税分が上回るということが起きます。

安倍政権の消費税を財源にしたこのような政策は、格差を拡大させます。さらに、保育園では、副食費は無料でしたが、幼稚園並みに有料で、自己負担になり、主食費、教材費などと合わせると毎月数千円の負担になると言われており、完全無料化とはほど遠いものです。

また、0～2歳児については、住民税非課税世帯は無償化されます。条件付き第2子は半額、第3子は無償ですが、他は有償(最高49,500円)です。



どろんこ遊びに夢中で～す

## 井之川博幸議員の一般質問報告その3

### 住宅リフォーム助成制度の復活と 商店リフォーム助成制度の創設を要求

(前号からのつづき) 井之川議員は、沼田市の中小建設業者に仕事を出すために、市が試行的に数年間実施し、その経済効果を認めている「住宅リフォーム助成制度」の復活と沼田市の商店街復活の力になる「商店リフォーム助成事業」の創設を求めました。



2019年3月24日 No.919

## いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料